

令和5年度3月教育委員会 会議録

開催日時	令和6年3月11日（月） 15:00～16:20	
開催場所	早島町町民総合会館 2階 集会室	
出席者	委員	白神敬祐教育長、栗坂祐子委員、綾野克紀委員、市橋晃委員、岡本善弘委員
	事務局	猪木浩二学校教育課長、貝原丈雄課長補佐、藤井夏樹主任
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 議事・報告案件</p> <p>（1）早島町教育委員会事務局組織規則の一部改正について</p> <p>（2）早島町教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部改正について</p> <p>（3）早島町通学路等安全推進会議設置要綱の一部改正について</p> <p>（4）早島町英検受検応援補助金交付要綱の制定について</p> <p>（5）その他</p> <p>3 連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早島中学校卒業式（3/12） ・早島幼稚園卒業式（3/15） ・早島小学校卒業式（3/19） ・早島幼稚園・小学校・中学校修了式（3/26） ・早島幼稚園・小学校・中学校始業式（4/8） ・早島小学校入学式（4/10） ・早島中学校入学式（4/11） ・早島幼稚園入園式（4/12） ・早島幼稚園参観日（4/17） ・早島中学校2年広島研修（4/23） ・早島中学校3年修学旅行（4/24～26） ・早島小学校参観日（4/26） <p>4 閉会</p>	
会議資料		
傍聴者		
会議録作成者	貝原丈雄	

会議内容

1 開会

教育長あいさつ

白神教育長：本日3月11日は、東日本大震災が発生してから13年目です。元日に大きな地震もあり、南海トラフ地震も何十年以内に起こると言われていますので、出来る備えをしておかないといけないと思うし、来年度の予算で、防災教育で80位のコンテンツのあるアプリを、小中共に、1年間使い放題のプランに加入しているのですが、避難訓練などはしていますが、アプリも使いながらやっていきたいと思っています。

明日が中学校の卒業式で、金曜日が幼稚園の卒業式、来週の火曜日が小学校の卒業式で、議会の合間を縫って開催されます。来賓は私と町長と議長だけです。先月以来、小中学校ではインフルエンザで学級閉鎖がまだ起こっていますので、感染症対策をしっかりとやるようにと伝えています。

先週の土曜日に、第8回はやしま子どもフォーラムが開催されました。私も昨年度はじめてフォーラムに参加しましたが、せっかくの機会なのに残ってくれる人が非常に少ないことがあり、今年度は出来るだけ保護者の方に残って頂ける様に、子供たちの面倒を見ることも企画してやりました。子どもたちの様子の上映会もあったからか、中山先生の話しの辺りからは、昨年度よりは多くの方がいらした印象でした。今年度の反省を生かして、また来年度のやり方を考えていきたいと思っています。

4月から機構改革が行われるので、それに伴いまして色々と規則の改正も、今回議題としてあがっておりますので、慎重な審議をよろしくをお願いします。

2 議事・報告案件

(1) 早島町教育委員会事務局組織規則の一部改正について【資料あり】

白神教育長：原案の通りお認め頂くということでよろしいでしょうか。うなずいて頂いていますので、ご了解頂いたと理解させていただきます。ありがとうございました。

(2) 早島町教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部改正について【資料あり】

白神教育長：原案の通りお認め頂くということでよろしいでしょうか。ありがとうございました。それでは、ご了解頂いたと理解させていただきます。

(3) 早島町通学路等安全推進会議設置要綱の一部改正について【資料あり】

白神教育長：原案の通りお認め頂くということでよろしいでしょうか。ありがとうございました。

(4) 早島町英検受検応援補助金交付要綱の制定について【資料あり】

白神教育長：今までもやっていたものを要綱にし、高校生まで伸ばしますと議会で答弁しましたので、それを受けて、早島町に在住されている18歳までであれば補助対象者になります。予算をどのくらい上乗せしたかな。

綾野委員：そもそも使い切りましたか。

藤井主任：足りないくらいです。令和5年度は、延べ129人が応援制度を利用されています。今年度は63万円位になります。

白神教育長：町外の方はすごくビックリされます。

猪木課長：16万円上乗せしています。

白神教育長：各級1回だけ使えます。

市橋委員：中学校卒業時の3級取得率がすごくなかったですか。

猪木課長：46%です。他の公立中学校では20%くらいです。

白神教育長：指導される先生も、英検対策で部活がない日などに、そういった子ども達を集めて、1次が合格した子を集めて2次の勉強をやっていただいています。準会場でやっているから、知った人ばかりで受けることが多いから、安心感もあるかもしれません。

猪木課長：今までも運用はしていましたが、遅くなって申し訳なかったのですが、このタイミングで、きちんと要綱として方向性を示しました。

白神教育長：これにつきましてもご理解を頂けますでしょうか。ありがとうございます。

(5) その他

白神教育長：1年の締めくくりでもありますので、この1年のことなどを振り返り、印象に残っていることなど、ご意見ご感想を頂けたらと思います。

栗坂委員：年間を通して、幼小中の子ども達の様子を見せて頂いて、早島の子ども達は、落ち着いて幸せな環境の中で学んでいるなと思いました。教育長さんはじめ、教育委員会の皆さんの支えがあって、先生方もきっと、安心して教育に取り組まれているんだろうなと思っています。先程の英検のこともですが、色々な意味で整った環境の中で、子ども達が頑張るチャンスを与えてもらっているかなと思います。

私事ですが、2月に早島小学校4年生に、お琴の授業に行かせてもらいました。4クラスそれぞれ雰囲気も違い、若い先生が子ども達をギュッと締めている感じがして、子ども達は色々感じて、楽しいとか面白いとか、もっとやってみようとか、きっと心の中で思っていると思うんですけど、それをなかなか出しにくく控えているような感じがするクラスもあったり、中には自由に思ったことを外に出して行って、伸び伸びと学んでいたりと、それぞれ違う雰囲気があって、小学校って、ほとんど1日中担任の先生が指導して1年過ごすので、いい意味でも別の意味でも影響力は大きいと思ったので、小学校でも、色々な意味で違う雰囲気が入ってくるような仕組みが出来ていくと、また違った形になるのかなと思います。

ました。

白神教育長：高学年、4年生以上は教科担任制とかやっています。ローテーション道徳とか。小学校は特に教科担任ではないから、担任の先生の力量などが、子ども達に及ぼす影響が大きいけれども、教える内容などについては、先生の年齢や経験などもまちまちなので、学年会議とかを開いてやっている中で、先生方の個性や力量も発揮されながら、子ども達も育っていていると思います。中学校は担任はいるけど、色々な教科の先生が入ってくるので、割と色々なものにさらされていく部分はあるのかなと思います。小学校低学年は、最初の辺は学校生活に慣れる部分もあるから、ある程度の統率というか、社会性を勉強するところも必要かなと思います。貴重なご意見ありがとうございました。

市橋委員：自分の子どもが小学生で、40人近いクラスで教室の後ろに入るスペースがないくらいきついなと。灘崎小学校は、今1クラスで26人しかいない。人数がたくさんいる幸せな部分と、目が届いているのか心配な部分とで、人数が増えているけど、校庭は同じ広さで、学年別で遊んでいるそうですが、今後人数が増えていく感じなら、考えていかないといけないけど少子化だし、ここは大きな課題なのかなと思います。

白神教育長：子どもの数が、これからどう推移していくかは注目している部分です。来年小学校は、2年生だけが5クラスで、他は4クラスになる予定です。中学校は各学年4クラスの予定です。小学校の教室の問題や、支援学級が多いとか、来年度体育館の建て替えに向けた動きの時に、土地が限られているので、どのような工夫が出来るか、新しい情報を入れながら、気にしていかないといけないと思います。

岡本委員：通学の安全のことが気になっていて、年度当初に、自転車の子が転倒したから、滑り止めをどうにかと言ったら、ゴムを張ってくれたのを確認しました。中学生が以前、自転車で落ちた割と深い水路に、点々とガードレールが付きました。学校の近くの郵便局の辺りは、ものすごい車が動く聞いています。二号線の高架の工事ははじまると、人や車の流れが変わってくると思うので、自分で出来るのは、子どもと少し接して、安全面に目を配って、色々な機会に伝達させて頂こうかなと思います。

小学校で気になるのは、特別支援学級の環境です。数も多いのでサポートも必要だろうし、皆さんへの認識の為の、講習や講演などの形も必要だろうと思っています。中学校は不登校の数が少し多いかなと思います。色々な原因が考えられるんでしょうが、困り感がある子は絶対にいると思うので、サポートしていくことを、絶対に目をそらしてはいけない部分だと感じました。

白神教育長：通学路の安心安全は、議員さんからの質問も出ています。合同点検は年に1回やっている中で、どれだけの情報を吸い上げて、実際に見て、教育委員会だけ

で出来ることが少ないので、建設課や警察にお願いして叶えられる、色々な所に理解してもらうようお願いしていかないといけないと思っています。

特別支援学級が多い話もあって、今年度から、県の特別支援学級担任専門性向上事業を受けていて、1年が済みましたが、3年指定になっていますので、特別支援学級の担任を、経験したことの無い先生も担任するかもしれないので、そういった先生の力量を上げると共に、通常学級にいる子どもの見方も上げていかないといけないし、クラスが大きいので隅々まで目を通さないといけないし、支援学級のことが中心でやっているかもしれないけど、通常学級にも広がっていかないといけないし、早島の取り組みが、県全体の取り組みに波及していかないといけないのかなと思います。

不登校の話は、こころの健康観察など色々な手立てを尽くして、子どもの変化などをキャッチするような仕組みや手段を考えていかないといけないと、国も県もうちも、非常に大変なことだと思っています。色々なセーフティネット、網を広げて行って、そこへ掛かってくれる子どもを沢山作っていかないといけないのかな。ふれあいとか、学校に来れない子どももいるから、それ以外の作戦も考えていかないといけないと思っています。ありがとうございました。

綾野委員：8年間で1番の思い出は、2年前の当時の教育長の代わりに、卒業式で挨拶したことです。幼稚園で挨拶された市橋さんと、その後お話しした時に「お母さんがみんな泣くんですよ」と言われたのが印象的で、家内に聞いたら「4人いる子ども全員泣いたわ。泣かないお母さんなんかいない。あんなにダメダメだった子が卒園の時には出来るようになってのを見るだけで嬉しい。」と教えてもらった。

私最近ゴルフのレッスンに通い始めたんです。ゴルフは30年くらいやっているんですが7番アイアンで80ヤードしか飛ばなかったんですが、ちょっとレッスンを受けると100ヤード飛ぶようになって、1ヶ月通ったら120ヤード飛ぶようになりました。教わらないとずっと出来ないままだったのが、ちょっと教わることで出来ないことが出来るようになる。大人になってもそのことが嬉しいんです。そうしてあげられるのが教育の本質ではないかと思っています。

嫌な、気持ちの悪い思い出もあって、県や全国の平均とか、理科と算数が点で表され披露しないとけない、あの時間が本当に気持ち悪かったんです。文科省の役人として資料作成が必要なのは分かるんですが、私はそういうのが本当に教育の指標なのかなって今でも思います。本当の所はそうではなくて、出来ないことが出来ることになる喜びを感じさせてあげるのが、大事な話ではないかなと思います。教育の本質を忘れない教育行政を、早島町の教育長をはじめ皆様方にはお願いできたらなと思います。長い間お世話になりました。ありがとうございました。

白神教育長：教育の本質と言いますか、特に幼稚園の子って成長の度合いがよくわかる。小学校は6年間あるから、体も大きくなったりするけど、小学校、中学校、高校となると、おそらくだんだんと自分から遠くなっていくじゃないですか。幼稚園って目が離せないから親が周りにはいるじゃないですか。だから余計に色々出来るようになったことが目に見えてわかるとか、そういったのもあるのかなと。早島町で育った子どもが、早島のことを思ってくれる子になってくれるといいかなと。国の方でも色々な事が言われているので、県も市町も補助金なども使いながら、どんな子どもを育てていくのか、原点に立ち返りながら、10年前に出来た、早島町学校教育ビジョンを更に改良しながら、早島で教育を受けられて良かったなと思ってくれるような子どもが、何人もいてくれるといいのかなと思います。ありがとうございました。

後任は加藤和子さんです。幼稚園の園長先生で終わられて、今は人権擁護委員もされてます。既に議会でも同意は頂きました。

綾野先生に教えて頂いたことを、来年度、再来年度に活かしていけるように、教育委員会として努めていきたいと思います。皆さんで協力して、前に前に進めていけたらと思っています。ありがとうございました。

3 連絡

猪木課長：次回、4月の教育委員会は、4月26日（金）15：00～17：00、ゆるびの舎2階の集会室で開催します。

貝原課長補佐：令和6年度の、教育委員会と総合教育会議の予定表を付けさせて頂いています。急な日程変更が発生する場合があります、その時はよろしくお願い致します。

4 閉会